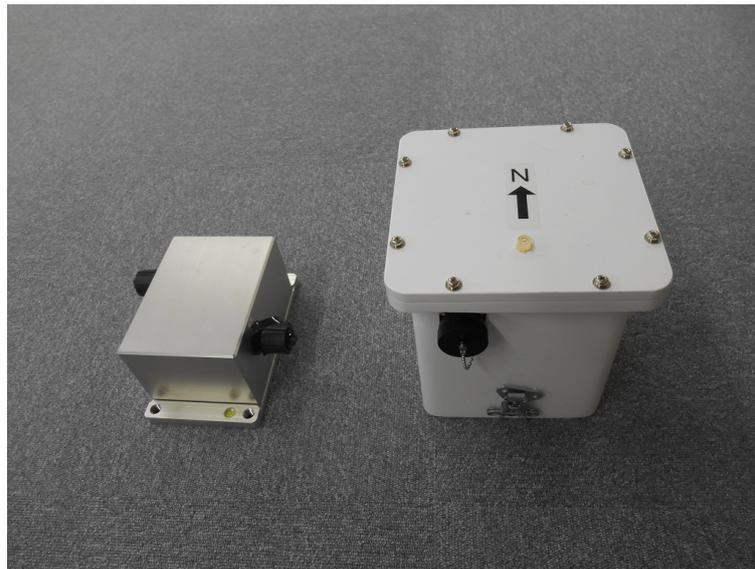
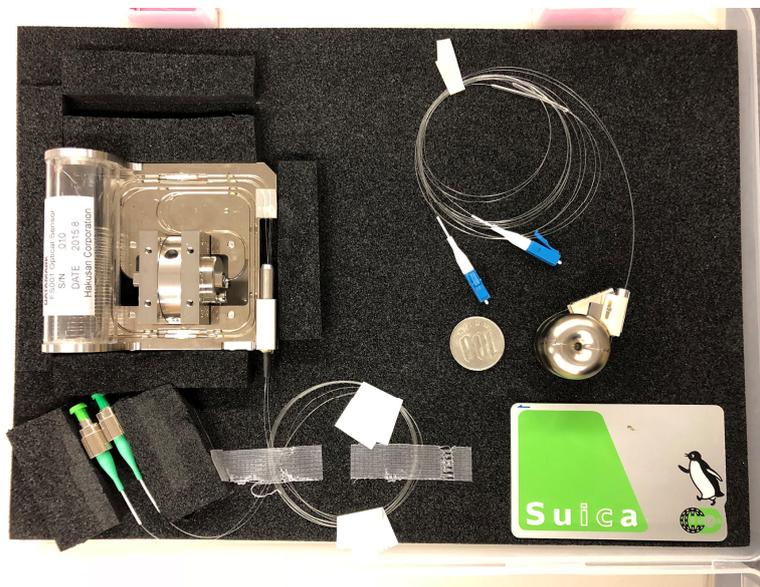


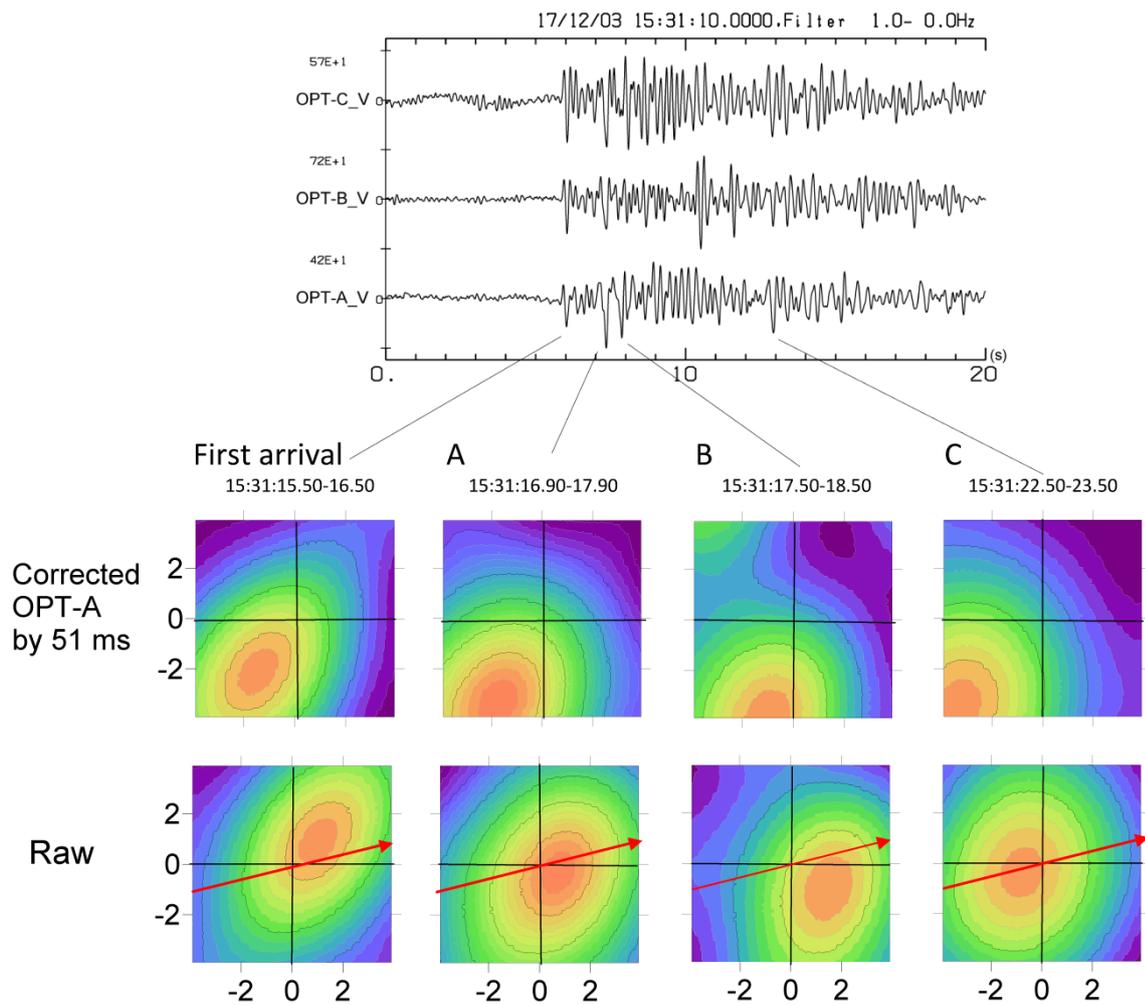
グラビア



左が新しい3成分センサユニット筐体（12cm×15cm×9cm），右が昨年度まで使用していた3成分センサユニット筐体（20cm×20cm×20cm）である．新センサユニット筐体は調整脚により3点支持となっており，水準器で水平を調整することが可能となっている．新しいセンサユニット筐体は前回よりかなりの小型化が達成されている．



新しい光センサ素子（右上）と従来の光センサ素子（左中）．両方とも1成分用である．比較のために新しいセンサ素子の隣に100円硬貨とICカードを配置した．従来のセンサ素子はJOGMEC PHASE1 試作品で使用したものと同型である．新しいセンサ素子は大幅に小型化されている．



浅部構造にもとづく走時補正による火山性地震の地震波到来方向の補正. 最下段 **RAW** は走時補正を施さない場合の結果, その上は走時補正を施した結果を示す.